

意見	回答
<p>3 ページ</p> <p>年齢区分の説明は、こどもを39歳までと考えるのは、現状では一般的には想定しにくいので、図の方が捉えやすいと思います。</p>	<p>わかりやすいように図を付けました。</p>
<p>19 ページ</p> <p>②で表と説明が一致していない印象を受けます。コロナが人々の生活に大きな影響を与えたのは令和2年度ですが、巡回相談もその年にピークを迎えているようです。</p>	<p>再度、内容を確認し説明文を変更しました。</p>
<p>29 ページ</p> <p>30 ページ以降の基本目標をライフステージごとに並べたことについて、基本理念の中で言及することも考えられます。</p>	<p>基本理念の中で基本目標をライフステージごとに並べたことについて言及するよう、文章を追加しました。</p>
<p>32 ページ</p> <p>待機児童については全国に約2,500人しかいませんので、以前に比べて0は達成しやすい数字になっていることから、指標としては入所保留児童を中心に記している自治体もあります。</p>	<p>全国的に待機児童0の自治体の方が多いため、指標を削除しました。</p>
<p>32 ページ</p> <p>指標の4つ目が、読み手にはどのような事業を指すかわかりにくいように思えます。</p>	<p>指標の下に()書きで事業名を記載しました。(看護師配・フリー保育士等配置事業等)</p>
<p>36～37 ページ</p> <p>他の目標に比べ、この比較的高い年齢に関する支援が弱いように思います。指標も相談窓口の準備に止まっています。</p> <p>ただ、他市でも同様な傾向なので、今後より充実した支援を検討していただきたいと思います。</p>	<p>若者の自立に向けた支援、複雑複合的な課題や狭間のニーズへの対応等について相談支援体制の充実を目指しているところですが、支援内容につきましては引き続き検討していきます。</p>

<p>40 ページ</p> <p>子どもの意見聴取の方法について、現状で何か想定している会合などがあればその開催回数でもいいかと思えます。</p>	<p>児童・生徒アンケート「豊かな心や生き方について考える機会がある」の肯定的回答の割合にしました。</p>
<p>40 ページ</p> <p>児童虐待の意識の向上の指標は、研修会や講演会の開催数、参加人数なども考えられます。</p>	<p>児童虐待の意識の向上の指標は、「児童虐待防止に関する研修会等に参加した人の内容理解度」にしました。</p>
<p>44 ページ</p> <p>「一・二中校区」について、令和7年度から「一中」から「交野みらい学園」になるため表記を変える。</p>	<p>新しい学校種である「義務教育学校」として交野みらい学園が令和7年度からスタートするため、「校区」等の表記の見直しをしました。</p> <p>※第一中学校区→交野みらい学園校区</p>
<p>105 ページ</p> <p>こども基本法に関して「6つの基本理念」と書くと、その内容が気になる人もいそうです（記載してあるこども大綱におけるこども施策の基本方針も6つなので紛らわしいような気もします）。</p> <p>また下部にこども戦略未来方針の3つの基本理念が記されていますが、この3つが基本理念であることを記してもよいかと思えます。</p>	<p>「6つの基本理念」と「こども戦略未来方針の3つの基本理念」の表記の変更をしました。</p>

※他、誤字脱字等のご意見については適宜修正等を行いました。